

# ぴあ新聞

第78号

令和3年2月1日発行



春、加賀公園や石神井川付近では、鶯の囀りが聞こえます。

公益財団法人 愛世会

介護老人保健施設

シルバーピア 加賀

## 施設長 挨拶

新型コロナウイルスへの所感

新型コロナウイルスの流行により、全世界に大きな混乱と影響が続いています。諸外国では、オーバーシュートと言われる急速な感染の広まり(二〜三日で倍)が繰り返し起きて、多数の感染者、死者を記録しています。それに対して、日本における人口当たりの感染者数と死者数は、欧米の約五十〜百分の一程度と少なく、オーバーシュートも起きていません(日本では三十日かけて倍)。その要因は様々な仮説が提唱されていますがまだ解明はされていません。少なくとも日本人には新型コロナウイルスに対する耐性があることが分かっています。

その一方で、持病のある方やご高齢の方にとつては、若い健康な方に比べて、重症化率、死亡率が特に高いことも明らかになっています。持病のあるご高齢の方が集まる高齢者施設や病院は、最も厳重に感染リスクの管理を求められる場です。また、人との接触によって感染するわけですから、施設を利用することや外出をすることそのものがリスクであることは逃れられない事実です。極端なことを言えば、新型コロナウイルスで死なないようにするには一人で閉じこめることです。ですが、楽しみを奪われ、運

動の機会を奪われ、体力を落とし、生活の活力をゼロにすれば、新型コロナウイルスでは死ななかつたけれど、それ以外の原因で命を落とすということになります。全く本末転倒なことが起きかねない状況になっています。そこで私たちは、このような状況の中でも、最大限の感染対策を取りつつ、ご利用の皆様楽しく生き活きたした生活を送っていただけけるよう支援するために、精一杯の努力を続けて参ります。最新の正確な情報を収集し、科学的な根拠のある方法で感染対策を行い、「正しく恐れる」ことが大切だと考えます。感染リスクをゼロにすることはできません。もしも感染者が出た場合でも、迅速に感染拡大防止の対応ができるような態勢を整えて参ります。皆様におかれましても、ご理解の上ご協力をよろしくお願い致します。

施設長 白土裕之

## クリスマス会 (通所)

令和二年十二月二十五日(金)クリスマスに年内最後となる行事レクとしてクリスマス会を開催いたしました。

今回は「サイレントクリスマス」をテー

マとし、様々な都市の美しいクリスマスの映像を大画面でご覧になりながら、クリスマスケーキとクリスマス限定コーヒーマシヤンメリーを召し上がっていただきました。ケーキには、トッピングとして生クリームとフルーツなどを利用者様ご自身でのせていただき、各々のオリジナルケーキを完成後、例年では乾杯の挨拶でシャンメリーを召し上がっていただくことになっておりましたが、今回は感染予防対策として主任の挨拶のみとさせて頂いていただき、ゆったりとしたお時間でオリジナルケーキと美味しいコーヒーマシヤンメリーを堪能いただきながら、静穏で清らかなクリスマス会となりました。

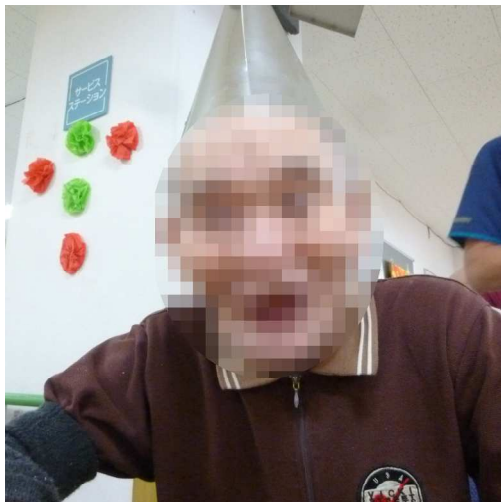


## クリスマス会（りんどう）

今年もクリスマスの季節がやってきました！

当施設では今年も各フロアーにてクリスマス会が開催されました。

施設スタッフによるハンドベルによるクリスマスソングや『幸せなら手を叩こう』などの曲に合わせてご利用者様が唄われるなどとても楽しい雰囲気での時間が過ぎていきました。



当施設より皆様でのご視聴用として歌謡曲のDVDがプレゼントされ贈られるとご利用者様皆様が大変喜ばれていました。

今年もコロナ禍ということもあり例年よりもささやかなクリスマス会となりました。

ましたが皆様にご満足して頂けたことでスタッフ一同も安心しています。

二〇二一年のクリスマスまでには世界的に広がる新型コロナウイルスが落ち着いてくれる事を祈るとともに、それに備えて更なる盛り上がりを魅せる事が出来る様にスタッフ一同精進したいと思います。



## 初詣&絵馬（すずらん）

新年明けましておめでとうございます。今年も一月一日、二日に初詣のレクリエーションが開催されました。

例年ですと各階二フロア合同での初詣を行っていましたが、今年も新型コロナウイルスの影響もあり、感染予防の為各フロア二日間に分けての開催となりました。

ご利用者様は職員付き添いの元、赤い鳥居を潜ってお賽銭箱の前まで進みます。お賽銭を手に握り、「えい」とお賽銭を投げた後に鈴をシャンシャンと力強く鳴らし、皆様それぞれの願いを込めて祈られておりました。



初詣が終わった後は、甘酒と紅白饅頭を召し上がられました。どちらも好評でしたが、特に甘酒は「これで一年健康で過ごせ

そうね」、「酔っぱらっちゃったらどうしよう」と皆様明るい笑顔で話されていました。初詣に合わせて絵馬作りのレクリエーションも行いました。こちらでは絵馬の代わりに絵馬を模した用紙に心を込めて願い事を書かれています。

参拝後にご利用者様にどんな「願い」をされたのかを伺うと、一番多かったのは「健康」でした。参加した職員もご利用者様とご家族様が、今年も1年間健康に笑顔で過ごせるように強く願いを込め、清らかなで温かい新年を迎えました。



## 介護者教室

在宅支援委員会では新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見えない中、何とか今年度「家族介護者教室」を開催する為に何度も相談を重ね、十一月十七日（火）午後1時半から「高齢者の食事の改善と工夫」というテーマで家族介護者教室を開く事ができました。板橋区の配食サービス事業に参加している事業所の一つ「クック123」様を講師に迎え高齢者の方が陥りがちな食事の取り方や改善点について、栄養バランスの事も踏まえながら解りやすく解説していただきました。感染予防策をとりながら



参加された方からも積極的な発言が聞かれ、有意義な時を過ごす事ができました。コロナ終息後には地域で教室が開けると良いという意見も出ており、今後も情報発信に向けて努力していきます。

## 新人紹介

介護（たんぽぽ）  
こんにちは、〇〇です。個人に寄り添ったケアを心がけ利用者様の生活をサポートしていきます。



公益財団法人 愛世会

介護老人保健施設 シルバーピア加賀  
広報委員会

東京都板橋区加賀一―三―一  
TEL 〇三―五二四八―二六六一

※ 掲載しております写真はつきましては  
ご本人の了解をえております。